

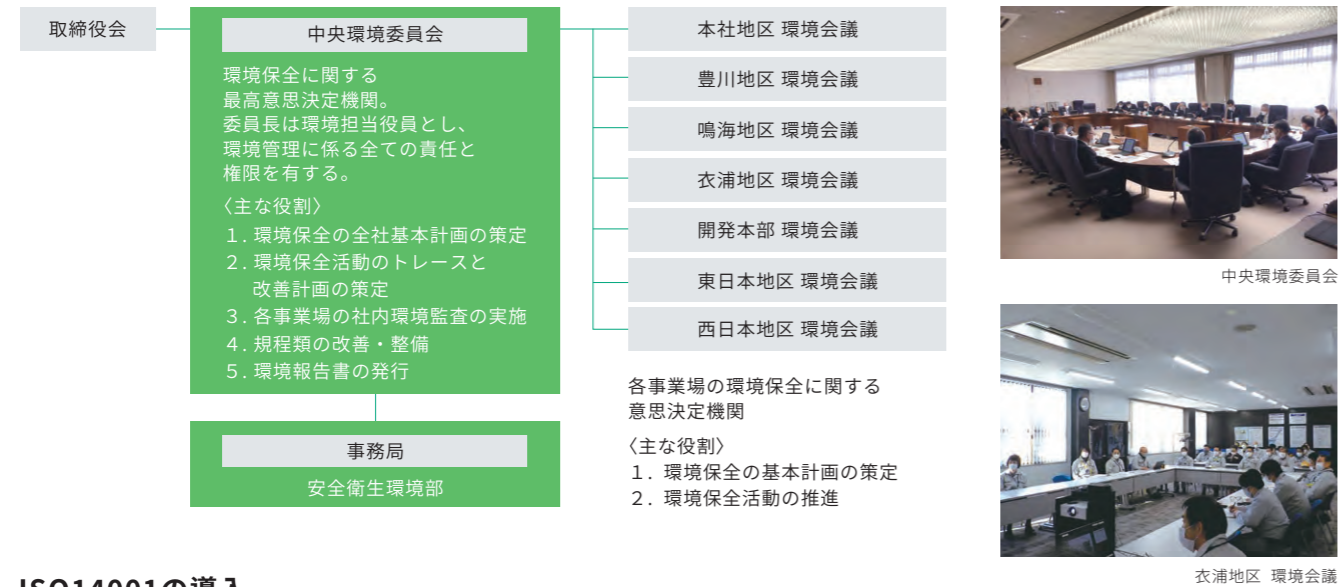
# 環境に関する取組み

当社は環境保全を重要課題と考えて、業務の各分野で積極的に取り組んでいます。1972年に公害防止管理規程を制定し、公害防止対策を開始しました。1999年には環境保全活動を全社的に進めるために環境管理規程を制定し、同時に中央環境委員会ならびに事業場毎に環境委員会を設置して、環境保全活動を開始しました。また、2000年には環境方針を制定し、全社が方針に沿って目標を定め、その達成に向けて邁進しています。

## ■環境方針

<b>基本理念</b>	企業活動と地球環境の調和を経営の重要課題と位置付け、環境保全に積極的に取り組み、企業としての社会的責任を果たしていきます。
<b>環境活動方針</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境に配慮した製品・サービスを開発し、提供する。</li> <li>環境管理システムを確立し、継続的な改善を図る。</li> <li>エネルギーと資源の効率的利用や廃棄物の削減を推進する。</li> <li>環境関連法規を遵守すると共に、自主管理基準を策定して管理する。</li> <li>環境教育により全従業員の意識を高めると共に、地球環境保全活動に積極的に参画する。</li> </ul>

## [環境に関する体制図]



## ISO14001の導入

当社の各事業所では、環境保全の国際規格であるISO14001の認証を取得しています。

事業所	豊川製作所	鳴海製作所	衣浦製作所
取得年月	2003年8月	2005年7月	2001年12月

## 環境に配慮した製品・サービスの開発・提供

JR東海向けハイブリッド式特急気動車HC85系では推進軸・変速機を介してエンジンの出力で走行する従来の気動車タイプと比較し、省エネルギー面では燃料消費量を35%向上し、環境面ではCO<sub>2</sub>排出量を約30%削減、NO<sub>x</sub>排出量を約40%削減しています。また、N700S新幹線電車ではN700A新幹線電車と比較し、電力消費量を削減しております。さらに環境負荷低減の取組みとして、廃車となる新幹線車両の車体に使用されているアルミ部材をリサイクルし、内装部品の一部(荷棚材)に使用しております。今後、新幹線車両のアルミ部材のリサイクルをさらに推進し、適用範囲を広げるなど、環境負荷を一層低減できるよう、取り組んでまいります。



## ■環境目標と実績・エネルギー使用量の削減

### 環境目標と実績

当社は、持続可能な社会の発展に貢献すべく「環境活動方針」を制定し、低炭素社会・循環型社会の実現に向けた取組みを進めています。2022年度より5年ごと(注:1期目のみ3年間)の自主的な

活動目標を定めた「中期目標」を掲げ、これまで4期にわたって活動しています。2020年度からの5年間(2020~2024年度)は、第5次中期目標として活動目標を定めました。

<b>第5次中期目標</b>	<b>5年度間平均エネルギー消費原単位を年1%以上低減する。<sup>※1</sup> ゼロエミッション<sup>※2</sup>(廃棄物のリサイクル率99.0%以上)を達成する。</b>
----------------	--

※1 省エネ法に基づく「事業者クラス別評価制度」でのSクラスを継続することを目標としています。

※2 当社の廃棄物のうち、再使用、再利用されずに埋立て等されるものを最終処分量とし、最終処分量を排出物総発生量の重量比1.0%以下にすることを当社のゼロエミッションとしています。リサイクル率は、(排出物総発生量-最終処分量) / 排出物総発生量で表す重量の比としています。

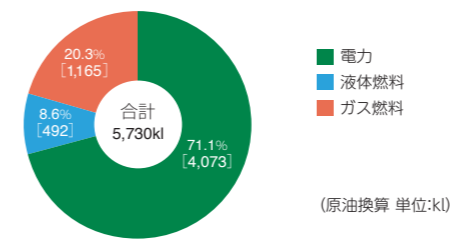
## ■2022年度活動目標と実績

省エネルギーを推進する為、引き続き効率的な設備への更新や電力、燃料の使用量削減などを行っており、2022年度の省エネルギー活動の目標として、「エネルギー消費原単位を2021年度以下にすること。および5年度間平均エネルギー消費原単位を年1%以上低減すること」と致しました。その結果、エネルギー消費原単位は対前年比97.2%、5年度間平均エネルギー消費原単位は96.0%となり、2022年度目標を達成しました。またこの結果、資源エネルギー庁による「事業者クラス

分け評価制度(SABC評価制度)」において、省エネが優良な事業者に与えられる『Sクラス評価』を、4年間継続して受ける見込みです。また、2022年度の廃棄物の削減目標として「廃棄物のリサイクル率を99.0%以上とするゼロエミッションの達成」を掲げ、環境活動を行いました。その結果、廃棄物の総発生量を削減するとともに、分別の推進とリサイクル物品の拡大を推進し、リサイクル率99.6%と2022年度目標を達成しました。

## [エネルギー使用量]

### ■エネルギーの内訳(種類別 原油換算)



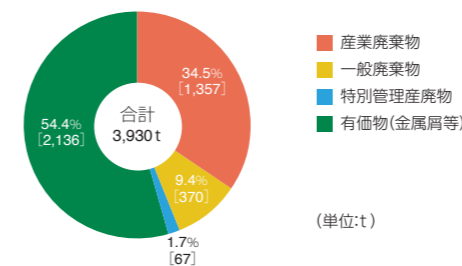
(原油換算 単位:kl)

### ■エネルギー消費原単位実績の推移

	2019年度 (対2018年度比)	2020年度 (対2019年度比)	2021年度 (対2020年度比)	2022年度 (対2021年度比)
対前年比	93.4%	96.6%	96.9%	97.2%
<b>5年度間平均</b>	<b>98.8%</b>	<b>97.0%</b>	<b>96.2%</b>	<b>96.0%</b>
クラス分け評価	S	S	S	S(見込み)

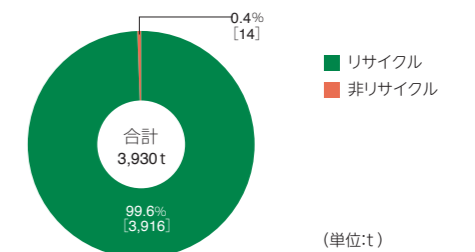
## [廃棄物]

### ■廃棄物の内訳(種類別)



(単位:t)

### ■廃棄物の内訳(処理方法別)



(単位:t)